

一般の部

番号	句	コメント	年代	投稿者
1	健忘症 それともひょっと 認知症		80歳代	小林 陽一
2	介護する と言った 女房が先に惚け		80歳代	小林 陽一
3	コロナ禍で 会えぬ間に 忘れられ		70歳代	橋本 裕子
4	我が母は 娘に姉さんと 問いかける	母は長子です。	70歳代	小栗 般子
5	顔はわからずも 書けば 笑顔で読んでくれ	誰も読めぬ読み方です。	70歳代	小栗 般子
6	母は今 十九の春を 彷徨えり	自分の青春時代を思い出して	70歳代	今津 正枝
7	勝負服 勝負パンツで デイサービス	早起きして着て行く服を選んでいきます。	70歳代	今津 正枝
8	電話の度 又同じこと聞かされる		80歳代	林田 寿美枝
9	何が無いん 今日もごそごそ捜し物		80歳代	林田 寿美枝
10	死にたいと 云うて息子の 顔のぞく	嫁じゃなく息子がどんな返答をするか確かめる。	70歳代	今津 茂
11	「死にたい」は 同意語ですよ 「生きたい」と	本気じゃなく本当は生きたいんです。	70歳代	今津 茂
12	よりそって 共に生きてく 認知症		60歳代	山田 裕子
13	認知症 だれもがなりうる やまいかな		60歳代	山田 裕子
14	花見来て 認知の母の 笑顔見る		60歳代	齊藤 繁志
15	何しても 認知は赤子 見るように		60歳代	齊藤 繁志
16	分からずも ず～と貴方の 娘です		70歳代	青山 久美子
17	手を繋ぐ か細い指に 力込め		70歳代	青山 久美子
18	もの忘れ 笑いとばして 生きる日々		80歳代	難波 澄子
19	あちこちと 嫁に相談 ありがとう		80歳代	難波 澄子
20	妻が逝き 子や孫 爺に脳のトレ		80歳代	龍門 孟
21	「惚けないぞ！」 いろはにほへと 丸暗記		80歳代	龍門 孟
22	おりおりに 娘に戻る 母がいる		80歳代	浅岡 みよこ
23	くるくると 回すテレビに 口業(くぎょう)吐き		80歳代	浅岡 みよこ
24	本を読み ぼけ忍び込む 扉断つ		90歳代	初川 宣子
25	あめとむち やんわりさとし ぼけなごむ		90歳代	初川 宣子
26	葉書来し 認知検査の 予約とり		70歳代	保田 一子
27	指折って 認知予防に 句をつくり		70歳代	保田 一子
28	十日ごと 記憶薄れる まだらボケ		40歳代	二村 隆文
29	認知症 忘れたことを 忘れてる		40歳代	二村 隆文

一般の部

番号	句	コメント	年代	投稿者
30	認知症 支えて明るい 地域の輪		70歳代	松浦 克巳
31	強がりを 言ってる人にも くる認知		70歳代	松浦 克巳
32	声掛けに ふりむく目もと 添いがたく	施設内で声を掛けた時の彼女の目のきびしさに足が止まった	70歳代	匿名希望
33	師と仰ぐ 師の年重ね 認知症	小学時の先生でした。久しぶりに逢っても、〇〇ちゃんと覚えて下さっていた。御高齢となり認知症になったことを知った。	70歳代	匿名希望
34	病む夫（つま）も 作り笑顔で 春彼岸	病室の夫も先祖のことを思い出しているのか、いつもより良い顔をして窓からぼんやり外を眺めておりました。	80歳代	影山 泰子
35	コロナ禍で ちょい飲みをして 夫しのぶ	コロナのせいでもう5ヶ月以上夫を見舞うことすらかないませんが、私は養命酒を一口飲んで酒好きだった夫を偲んでいます。	80歳代	影山 泰子
36	もの忘れ すました顔で おとぼける		70歳代	宇佐美 鈴江
37	夢の中 私の未来 アルツハイマー		70歳代	宇佐美 鈴江
38	逢わないと 忘れてしまう 孫の顔		70歳代	宇佐美 長作
39	頭の中 消しゴムで消され 闇の中		70歳代	宇佐美 長作
40	朝起きて あなた誰よ！と 夫に言う		40歳代	二村 典子
41	認知症 いつまでかかる 介護かな		40歳代	二村 典子
42	仲良しの 会話が弾む シルバーカー	二人は98歳と94歳の方です。毎日、シルバーカーで歩いたり、話されています。		森岡 澄子
43	少しでも 気に掛けながら 助け合い			森岡 澄子
44	にこにここと こどもにもどり たのしいな		80歳代	福井 緑
45	輪の中に 和の中に 認知育む 絆あり		70歳代	森 康子
46	巣ごもりは 認知機能を 下向きに		70歳代	森 康子
47	二階で又 思い出せずに トントンと		80歳代	森内 智恵子
48	久しぶり 目と目は合えど 「君の名は」		80歳代	森内 智恵子
49	あの人が呆けたねと言っていた人が 認知症になり		60歳代	北原 敦美
50	数独を 頑張っている 私です		70歳代	香山 八千代
51	知らぬ間に 忘れられても 娘です		70歳代	香山 八千代

一般の部

番号	句	コメント	年代	投稿者
52	カレンダー メモを頼りに 過ごす日々	カレンダーに行事の予定をいっぱい書いています。	90歳代	薬師寺 共恵
53	もの 品物仕舞ふ 此処にと決めて 又探し	冬、春、夏物 別々の引き出しにあらまし分けて仕舞っています	90歳代	薬師寺 共恵
54	徘徊の ^{はは} 姑と手つなぎ 散歩する	平成20年になくなりましたが徘徊があり、地区の皆様にお世話になりました。	70歳代	忠政 幸子
55	今は幸 戦後の苦勞 ^{はは} 姑わすれ	姑は28歳で戦争未亡人になり苦勞して2人の子どもを育て、82歳で認知症になり施設で10年お世話になりました。	70歳代	忠政 幸子
56	認知症 なってたまるか まだ八十五	いくら年をとっても認知症にはなりたくない思い	80歳代	中村 行夫
57	まだらボケ 認知の病 始まりか	物忘れが多くなり、次の認知症の始まりかもと不安	80歳代	中村 行夫
58	なりたくて なったんじゃない 認知症		80歳代	匿名希望
59	脳トレで かたい血管 ほぐしやる	認知症にかからないようにと人の和に加わり腹の皮がねじれる位（おおげさですが）笑う事も大切ですよね。	80歳代	匿名希望
60	ボケの花 今年もきれいに 赤く咲き	木瓜（ボケ）の花と認知症のボケをかけました	90歳代	水島 静子
61	友もぼけ 私もぼけて 電話せず	同級生の誰に電話しても通じない。	90歳代	水島 静子
62	あんただれ 吉永小百合 そりゃなかる	6年前に亡くなった義母を介護していた時に、嫁である私の事はわからなくなっていて、よく「あんた誰？」と言われました。「吉永小百合です」と答えるときっぱりと「そりゃなかるう」と否定されました。	60歳代	定森 春美
63	何時罹る 認知の症 理解する	誰もが行く末を心配している事であるが、不安がらずに向い撃く心	70歳代	ポンコツ自動車
64	認知症 認めたくない キーワード	われわれ個々には受け入れられない病の一つである。	70歳代	ポンコツ自動車
65	いきつけの 医者はおれより 先に行き		70歳代	小枝 一夫
66	お父さん 今日の日付け 分かるかな		70歳代	よっちゃん
67	ありがとう 認知症ふせぐ 赤い羽根		70歳代	藤堂 茂規
68	役受けて もの忘れが 減りました		70歳代	藤堂 茂規
69	手伝おか やってほしいが 手間かかる	何か手伝うとは言うけど、説明してやっても手直しなどで手間がかかってしまう。	40歳代	長男坊
70	世話しても 返る言葉は もの盗む	世話をしても、〇〇がない、××が盗って行ったと言われた事を思い出して...	40歳代	長男坊

一般の部

番号	句	コメント	年代	投稿者
71	この部屋に 何しにきたか 石になり		70歳代	福田 拓男
72	認知かえ 卒寿の母に 咎められ		70歳代	福田 拓男
73	散歩行き 我家わからぬ 帰り道	黙って一人で散歩に行き途中で草取りをはじめ帰らなく探したことがありました。	70歳代	姥桜
74	忘却も 見分けてぶつける 他人と妻	記憶力が無く何でもすぐに忘れてしまうけど、カッとして物をぶつけるのは長男と私だけで他人はきちんと見分けておだやかにしています。	70歳代	姥桜
75	認知症 わすれたくない 家族の名		20歳代	水島 祐稀
76	ひなたぼこ 孫とかわす イイメール	覚えてたでスムーズにはいきませんがうれしいです	70歳代	菅根 緑
77	見付からない 額にはめてた 老眼鏡	メガネーと探して回る事しばしば	70歳代	菅根 緑
78	認知症 やさしい風を 待ってます	やさしいひと言が心を落ち着かせ嬉しいものです。	90歳代	広川 寿子
79	日々感謝 笑顔忘れず 痴呆予防	ケアマネジャーさん、ヘルパーさんにありがとうのひと言と笑顔を忘れないようにしてボケ予防に頑張っております	90歳代	広川 寿子
80	めでたいな 日にち間違え 得したとのたまう おばあちゃん	今日は26日よ 違うでしょ25日だよと言われた時、思わず出た言葉	50歳代	やっちゃん
81	待ちきれず 朝刊小説 折り目付けずに ななめよみ	婿さんより先に読み、折り目がつかぬように読んでいるおばあちゃんです。	50歳代	やっちゃん
82	誤字脱字 乱筆乱文 歳の性で許される	まあ、いいかと許してしまう。	50歳代	宇宙人
83	物事は いいように考えて 「はい」 終わり	どんな風に考えても解決せず、時間のムダ。	50歳代	宇宙人
84	思い出せ 優しかったな 父母の顔	優しかったころの父母の顔を思い出し、ここは我慢の時だ。	70歳代	ノブさん
85	いついつも 笑顔の家族 笑顔パス	この我慢の時代を家族全員の笑顔で顔パス通過しよう。	70歳代	ノブさん
86	サロンにて 「ボケない小唄」を 大合唱	最近「サロン」に来られても話の輪の中に入ってこられなくなったと思っていたら「認知症」だと言われた。サロンの中で歌ったり、話しかけると答えが返ってくるし笑う事もあったり、昔話も良かった。本人も忘れる、忘れると不安そうです。サロンでは「痛い話」と「物忘れ話」で花が咲き慰めあって大笑いします	70歳代	たんぽぽ
87	認知症を 知ってもらって 見守られ	「うちの親認知症なんです。見かけたら声かけてやってください」と家族の人から近所の方をお願いされる。	70歳代	たんぽぽ

一般の部

番号	句	コメント	年代	投稿者
88	愛しい人 泣きと笑いの 今日をゆく	長年連れ添った夫に認知症の兆し。泣きたくなるようなこともあり、一方、笑い転げるほど楽しい事もある。泣きと笑いのバランスで日々を重ねている二人がいる。	70歳代	美土路 千代子
89	手を貸して 日々つきあえる 友がいる	親友が軽い認知症状。ほんの少しだけ手を貸してあげるだけで、今まで通りの付き合いを続けることが出来る。失いたくない友との絆。いつまでも大切にしたい。	70歳代	美土路 千代子
90	認知症 なっても生きる この町で		80歳代	とっちゃん
91	支えられ いつもにこにこ 認知症		80歳代	とっちゃん
92	名札付け 手つなぎ散歩 老い二人		70歳代	有友 美江子
93	今日もまた 探し物で 日が暮れた		70歳代	有友 美江子
94	遅桜 母は笑顔の 車椅子	グループホームに入所している母に面会。コロナでずっと会えなかったがやっと会えた。すっかりやせた母。でも笑顔が。	70歳代	杉山 武明
95	老妻は 童となって 桃の花	ヨモギを摘みに妻を誘い。段々子どもになっていく妻。桃の花の下で手をつなぎました。	70歳代	杉山 武明
96	君の名は 自分に問えば 手遅れだ	四桁の暗証番号は忘れても自分の名前を忘れるようでは大変です	60歳代	井上 泰典
97	物忘れ 妻の診たては アルチュハイマー	過度の飲酒は認知予防の逆効果。アルコールはほどほどに。	60歳代	井上 泰典
98	大声で 「オーイ」と呼んでる ひとり言		90歳代	安藤 勲
99	認知症 知らぬ存ぜぬ 胸を張る		90歳代	安藤 勲
100	菅総理大臣 認知症ワクチンを 祈願します	医学の進歩とせつにコロナウイルスワクチンに刺激されました。	70歳代	船木 みさほ
101	認知もなく すこぶる健康が 幸運をよぶ	動物人間は全ての健康がNo1と思います。	70歳代	船木 みさほ
102	誰でしょう 会話が弾む 見えぬ人	数年前から認知の症状がある父ですが、最近初めて独り言を言っているのを聞いてしまい衝撃を受けました。	40歳代	目玉カメラ
103	何でかな カーテン開け閉め 鬼ごっこ	昼夜関係なくカーテンを開けたがる父です。外の景色がみたいのかなと想像しますが、夜は真っ暗で何もみえないはずですが、何がみえるのか不思議です	40歳代	目玉カメラ

一般の部

番号	句	コメント	年代	投稿者
104	眠らない 母と時計と 深夜便	母は十八年前に九十八歳で死亡。その三年前から昼と夜が分からなくなっていた。二人で深夜便の歌や落語など聞いた。なつかしい思い出。	70歳代	松本 藍
105	愛染かつらだけなら 風呂で唄う父	話しもしなくなった父親は風呂に入れてもらう時だけ花も嵐も〜と唄った。もっとやさしくしておけばよかった。	70歳代	松本 藍
106	恩返し 子どもかえりで お世話する		60歳代	みー子
107	毎日の 会話の中で 気づく事		60歳代	みー子
108	徘徊は 認知予防と 胸を張る	何か考えながら歩くことは究極の認知予防につながると言われています。	60歳代	匿名
109	忘れるな 食べた物より 食べた事	嫌な事 不快な事は忘れてもいいが食べた事は家族としては忘れてほしくない事です。	60歳代	匿名
110	認知症 支え心が 微笑みを	支える気持ちと心構えがあれば、認知症の人でも世話をする人も相共いつの日か笑顔で過ごせるように、希望と理想が叶えられれば最高との願いを込めて。そんな介護ができれば最高。	70歳代	散歩山歩
111	認知症 みんなが支え 住み良い町	認知症の人が家や今何をしているか分からないような場に、出会ったときなど「この人おかしい」ではなく、誰もが親切に対応してあげられる住み所であってほしいとの思いです。	70歳代	散歩山歩
112	福寿会 いつも脳トレ 笑い声	月2回の福寿会で会員は楽しんでおります。	90歳代	匿名希望
113	千字読み 五十字書いて 日々たのし	一日の生活です。山陽新聞を読み 滴一滴を書く。	90歳代	匿名希望
114	草取りと 言って苗抜き 陽の光	草取りは好きでよくしていたけれど、最近区別できず蒔いた野菜や花も抜き、太陽がよく当たると言っている様子。	80歳代	小枝 秀臣
115	広い部屋 機器に怒って ゲームする	相手がいなくパソコンでゲームをして、機器に向かって喜んだり怒ったりしています。	80歳代	小枝 秀臣
116	大事なこと アレクサにまで 告げておく	スマートスピーカーにも残す時代となりました。	30歳代	しゅう君
117	置き忘れ 通った後を 逆もどり	よくありますね。	30歳代	しゅう君
118	どこ行った 探すメガネは 額上	自分には見えません。	20歳代	たあ君
119	顔見せて 名前言っても あなただれ	やさしく教えてあげましょう。	20歳代	たあ君
120	引き出しに ある物すべて 見出し書く	よくわかりますよ。	30歳代	こう君

一般の部

番号	句	コメント	年代	投稿者
121	家族にも 物の置き場所 伝えとく (徳)	みんなが徳になりますよ。	30歳代	こう君
122	栄養と 人との会話で 予防する	認知症にかかる前にまず予防。	60歳代	こっこばあば
123	財産は 生前贈与で 皆笑顔	お金は人のために使いましょう。	60歳代	こっこばあば
124	帰り道 孫の後ろを ついていく	帰り道がわからなくなっても 大丈夫。	60歳代	マー坊
125	衣装まで 孫にも全部 プレゼント	孫にも衣装	60歳代	マー坊
126	春の日 来たよかあさん どちら様 私よ私よ 微笑む母	娘の顔も分からない母。でもたずねてきてくれた客人を思い 喜ぶ母	70歳代	北原 ます子
127	朝の陽に いこうよ いこう モーニング 早く着替えて ベッドの中	夢の中 若かりし頃の喫茶店のモーニング 思い出している のだろう。	70歳代	北原 ます子
128	私だよ 覚えていてね 声震え		60歳代	みえこ
129	どちら様 他人じゃないよ 今日また		60歳代	みえこ
130	もう少し 待ってあげよう 出来るまで		70歳代	本山 孝子
131	同じ事 何度もたずね 不安顔		70歳代	本山 孝子
132	認知症 わがか わがかと 振り返る	よく泣く癖がありますが認知症ではないと、元気でいます。	70歳代	三色すみれ
133	来て見れば ほっとほほえむ 認知症	亡き母がベッドに居る時いつも静かにほほえんでいるよう でした。	70歳代	三色すみれ
134	認知症 愛の手そっと 温もりを	しっかりと常識をもってこの難関を乗り切ること。	90歳代	角南 滋夫
135	認知症 明日は我が身だ 杖にぎる	理論も大切ですが基本は世間に迷惑をかけぬこと。	90歳代	角南 滋夫
136	答弁は いつも都合の いい認知		70歳代	吉川 英之
137	もの忘れ 認知と何処が 分かれ道		70歳代	吉川 英之
138	いないいないバアー 笑顔のさきに ぬいぐるみ	母の介護しながら。いつもぬいぐるみにいないいないばー をしていました。	60歳代	匿名希望
139	階段を 上がって気付く 忘れ物		70歳代	豊田 典子
140	物忘れ とりに行つて 何だっけ		40歳代	みっちゃん
141	朝めざめ 気がつけば今日も探してる 昨日のわすれもの		80歳代	濃野 弘枝
142	目的地 着くについたが 物わすれ		80歳代	栗村 祥晃
143	雨降りに 庭の下が悪い 庭を見るだけ	毎日庭の草取りをしています。	80歳代	菅原 恒子
144	忘れても 又思い出す あかるい農村つやま		80歳代	神田 豊子

一般の部

番号	句	コメント	年代	投稿者
145	自分の田に行って 何しに来たか 立ち止まる	今は田んぼにも行ってないのですが、田んぼのことは忘れずにいます。	70歳代	竹内 盛康
146	水を見に来たと あとで思い出す 我が田 ^{わがたんぼ}		70歳代	竹内 盛康
147	見え張らず 仲間とつなぐ 介護の目	人前に出るのが恥ずかしい？一緒に連れていく。	90歳代	藤本 毅
148	老いらくの カフェで咲かす 笑の花	介護5の妻92歳を老々介護 娘と自宅で介護です。	90歳代	藤本 毅
149	大丈夫 自分を忘れて ニッコリと	何をしても、自分がした事をすぐ忘れてニッコリ。腹が立つより可愛くて許せる。	70歳代	影山 もと江
150	八十より 才を取らぬ 義母	「お義母さん何才になったの」「八十だよ」本当は八十九だよね。あれからずーっと八十才。	70歳代	影山 もと江
151	終の日へ 上手に惚けて 日々笑顔	人生は惚けるもよし されど日々笑顔忘れず	80歳代	孟
152	ボケ上手 晩酌(さけ)を お薬(くす)と笑う爺	夕餉(ゆうげ) 楽しや 湯割焼酎をお薬とたしなむ爺の人生	80歳代	孟